

# いいもの山形 ラジオスペシャル

やまがたの匠たちが手間を惜しまずにつくり上げた、メイドイン山形の「いいもの」を広く知ってもらおうと、県産品に関する情報を一元化した、山形県産品ポータルサイト「いいもの山形」をリニューアルしました。サイトでは生活のシーンにあわせ、生産者の情報をカテゴリライズし、サイトに訪れた方が感覚的に探すことができるようにしました。

この度のサイトリニューアルオープンを記念して、「YBCラジオスペシャルin上質ないいもの山形」が放送されました。番組には衣食住楽のカテゴリーの中から6人の生産者が出演。技術力とデザイン力の高さを武器に、地場にこだわって生み出された「上質ないいもの」をたっぷりご紹介いただきました。

放送日時: 令和2年3月7日(土) 午前10時～11時  
放送局: 山形放送(YBC)



## ■ しな織り

五十嵐茂久さん / 関川しな織協同組合(鶴岡市)



「シナノキ」の皮の繊維を糸にして織る「しな布(しな織)」は日本三大古代布の一つと言われ、古くから地元で継承されてきました。梅雨の時期に伐採して皮を剥ぎ、約1年かけて「しな布」に完成させるまでの全工程(22工程)を手作業で行っています。水に強く、軽いので、キャップなどに最適。糸が織りなす自然の色合いと、風合いの変化を楽しめる素材です。

## ■ kiboriブローチ

芦野和恵さん / 仏壇のおおつき(山形市)



山形仏壇の彫師、芦野さんがつくる木彫りのブローチは、伝統的な仏壇彫刻をモチーフにアレンジしたもの。縁起の良い21種類の絵柄は、その一つ一つに意味が込められています。サイズは5cm程。軽量なので、ニットや薄手の衣類に付けても生地が垂れたり、傷むことはありません。彫刻刀を操りながら仕上げていく作業は、まさに職人技です。

## ■ やまがた木'S(きっず)

渡邊英木さん / 家具工房モク・木の家具ギャラリー(山形市)



オニグルミ、クリ、キハダ、ケヤキなど10種類もの山形県産木材を活用して家具作りをしている渡邊さん。木の種類によって表情が違うことや、手触りや匂いなど、木の良さを大人だけでなく子どもたちにも実感してほしいと広く活動しています。家具製作の端材で作った一輪挿しは、中のガラス瓶を外すと上部の十字の溝に写真やポストカードを挟んで飾れるように工夫を加えたデザイン。

## ■ ラグマット

穂積勇人さん / 穂積繊維工業株式会社(中山町)



シャリとした硬さの麻をベースに、やわらかいウール素材で仕上げた猫のモチーフが印象的なデザイン性の高いラグマット。穂積繊維の麻絨緞は先端をカットせず、一本一本ループ状に打ち込んでいくため、適度な硬さ、弾力性、肌触りの良さが生まれます。3種類の麻糸を組み合わせ、ストライプ柄や市松柄などを織り込んだデザインも人気。素足でその感触を楽しんでください。

## ■ 木質ペレットストーブ「OU」

遠藤ゆかさん / 株式会社山本製作所(天童市)



農業機械メーカーの山本製作所が提案する、山形の技術の粋を集めた木質ペレットストーブ。ベーシックな中に感じる高いデザイン性と重厚感は、現代の暮らしにもフィット。デザインは家具・プロダクトなどを手掛ける渡邊吉太さんが担当し、フロントフレームには山形鋳物(株式会社菊地保寿堂)を、本体側面部分には成形合板(株式会社天童木工)をあしらった工芸品のような一台です。

## ■ 革財布

小川太之さん / 有限会社グリーンバレー(新庄市)



日本では数少ない財布専門メーカーが手掛ける革財布。中でも「山形牛ラウンド長財布」は山形牛の革で作った財布。脂肪分が多く、通常なら一回鞣して終わるところを二回鞣して作り上げています。しっかりと手に馴染む柔らかい感触と、使えば使うほどに光沢と味わいが出てくる上質な革。デザインのポイントとなるメッシュは手編みで。細部に作り手のこだわりを感じる逸品です。